

研究タイトル：

テキストマイニング統合環境とWebマイニング



氏名：	徳永秀和／TOKUNAGA Hidekazu	E-mail：	tokunaga@t.kagawa-nct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(工学)
所属学会・協会：	情報処理学会, 人工知能学会		

キーワード：テキストマイニング, Webマイニング, Exploratory Search

- 技術相談
提供可能技術：
- ・テキストマイニング技術
 - ・データマイニング技術
 - ・Webアプリケーション開発技術

研究内容： TETDM による Exploratory Search 支援

1. Exploratory Search と支援方法

Web上のExploratory Searchとは、検索者が検索開始時に明確な情報要求を持っておらず、Web上の情報源の探索を行う過程で少しずつ情報要求を明確化していく探索行動である。したがって、明確な情報要求に基づいて、情報を絞り込んでいくLookup検索だけでは、Exploratory Searchを行うことはできない。Exploratory Searchを行うためには、学習(Learn)と調査(Investigate)が必要である。一方、現在のWeb上でのExploratory Searchは、検索サイトを利用することを前提に考えることが自然である。したがって、学習と調査のための情報検索は、クエリ拡張を行うことになる。クエリ拡張を支援するためには、検索キーワードとの関連語抽出、検索キーワードに関連するカテゴリ別にキーワードを提示する、ページの主題を提示するなど様々なテキストマイニングが必要となる。

2. TETDM

人工知能学会の近未来チャレンジのテーマTETDMは、テキストマイニング統合環境の開発と、それを活用した社会的創造活動の支援環境の提供を目指している。TETDMは、複数のモジュールがテキストデータを共有し、連動した処理を実現できる。図1は、主題語を抽出しチェックボックスに表示するモジュールと選択語と文の関連度を表示するモジュールの連動の様子である。

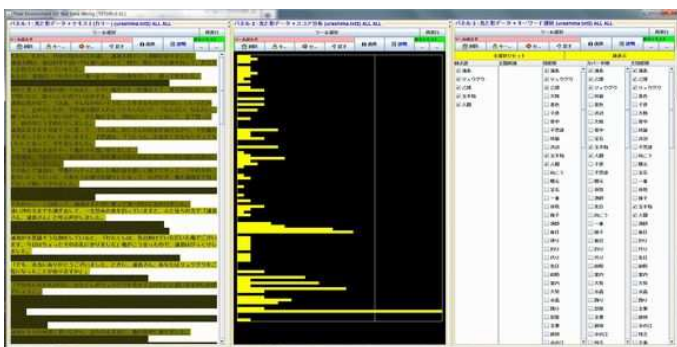


図1 連動処理の画面

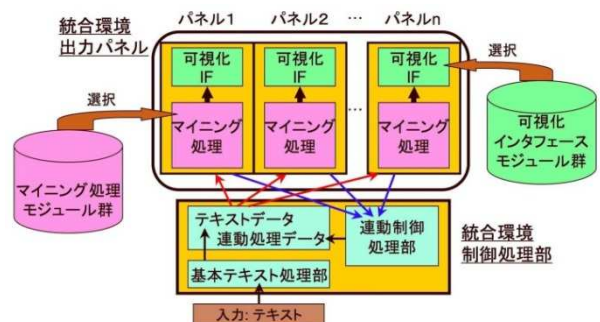


図2 システム構成

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

Rを利用したTETDMモジュール開発環境(USBブートUbuntu)	